



小澤洋介、三戸素子、P ヤング友の会ニュース

2002年10月20日発行 No.35

身を潜めるようにしていたあの暑い熱い長い夏がようやく終り、すっかり秋となりました。皆様はいかがお過ごしでしたか。洋介さんの泉の会のコンサートが行われた八ヶ岳の高原では、もう紅葉が始まっていました。

この大好評の無伴奏チェロの夕べを3回終えたところで、洋介さんがその熱い思いを書いてくれました。また、7月のクライネス・コンツェルトハウスの演奏会に、石井さんから胸ドキドキの「はじめての投稿」を頂きましたので、遅くなりましたがご紹介いたします。

今シーズンも洋介さん、素子さんのコンサートは目白押しです。スケジュール表をご参照ください。

10月5日 八ヶ岳「泉の会」主催、無伴奏チェロの夕を終えて 小澤洋介

今年も泉の会主催のチェロ独奏の演奏会が10月5日に行われた。八ヶ岳山麓大泉村の谷桜酒造の酒蔵を改造したアーティスティックな空間でのコンサートである。無伴奏チェロ、つまりチェロー本での数多くない作品の中で、もっとも根幹をなすレパートリーであるバッハの無伴奏チェロ組曲全6曲を中心に、第1回目はハンガリーの作曲家コダーイ、第2回目は邦人の黛敏郎、そして今年

は新進気鋭の西澤健一の作品を取りあげて演奏した。当初チェロー本でやる渋いコンサートということもあり、3回くらい続けばよいという気持ちではじめた。今年はその3回目だと思って臨んだ。西澤健一にこのコンサートのために作品を委嘱し、でき上がってきた作品は、譜面を一見した段階から将来のチェロ界にとって大事なレパートリーになるべき価値のある作品だと直感した。そしてその感弾けば弾くほど強まっていた。コンサートでの初演では、現代曲という興味ではなく、美しい作品として満場の聴衆に受け入れられたという手ご

たえがあった。バッハは、それこそチェリストにとってもっとも重要な位置を占める作品であり、満足がいく演奏ができることはまずない。こうして何度も繰り返して挑戦する機会を与えていただくことは私にとって、またチェリストとして何よりも有り難いことだ。

今回、節目と思っていたコンサートだったがいざ始まってみると満員のお客様で、思わず「このような渋いコンサートに、だんだんお客様が減ると思っていたのに、大勢いらして下さってありがとうございます。」と挨拶してしまった。そして終了後のお客様の中で「私にとっては毎回、同じプログラムで良いんですから来年もぜひ続けてください。」と云ってくださる方もあり励まされる思いがした。

このような演奏会を企画し、主催して下さった泉の会の皆様、特に中心となって下さった三井千恵子さんに心から感謝しているとともに、来年のコンサート開催を目指して頑張るゆきたいと思っている。

7月28日 クライネス・コンツェルトハウスの演奏会を聴いて 友の会会員 石井和子

初めて、思いきって感想をFAX致します。1日2日と日が続つうちに感動が薄れていってしまうのがもったいないです。

チェルニー、西澤さん、ドヴォルザークどれをとってもとても素晴らしかったです。何日前にオーケストラの演奏を聴きにサントリーホールに行きました(勿論プロ)。比べるわけではないのですが、皆様の演奏の方が断然良いのです。

西澤さんの曲素晴らしかったです。

はじめから終わりの一音まで引き付けられました。前のめりで聴いている自分に気がついて、イスに座り直すのですが、又、気がつく前のめり、曲の最後はどう終結するのが「あーかな、こーかな」とワクワクして思い描いていました。そして、思っていた通りの終わり方に大満足し「ほうら、やっぱり...」なんて心の中でニンマリしてすみま

せん。

でも大切なことは、作品だけ良くて、演奏が悪ければ何にもならないということ。当然なことですが、西澤さんの作品を7人の演奏者が最高に素晴らしく演奏して私たちに伝えて下さったからこそ感動を味わえるということですよ。もう一度聴きたいです。

家に帰ってから西澤さんのピアノ三重奏曲第2番のCD(東京文化会館でのサンクト・フローリアン三重奏団のコンサート)を聴いています。

東京文化会館って本当にいいですね。あのホールの中に一杯に詰まった皆様の音と音楽と呼吸と振動と静寂...、この空気を吸い込んで体中が音楽で充満していく心地よさは最高です。

何故、コンサートに行くかということ、この感動を伴った心地よさをもとめてなのかも知れません。 7月30日

楽器について思いをめぐらせてみると、だんだんそれが広がってホールも楽器みたいなものだなあ、と思えてきます。ヴァイオリンにひとつひとつ個性があって、しっとり馴染むもの、何となくよそよそしいようなもの等々あるのですが、ホールにも同じような感触があります。

ステージに上がってまず弾いてみると、ホール中の隅々まで心地よくよい音が響きわたるような感じがするハッピーなところもあれば、音がブラックホールの中に吸い込まれてしまいがごとく一瞬後には重たい沈黙に取り囲まれて途方にくれてしまうようなところもあります。

この頃は日本国中にさまざまなホールができていて、深い山を幾つも超えてたぬきに出会えそうな山村や、市内を離れ住宅地ばかりの地域に突然、素晴らしい木造りのシューズボックス型室内楽ホールが出現したりします。皆さまさまざまな夢や希望をもって建てられたことがうかがえるのです。

ホールの音響の良し悪しは、それこそでき上がって見ないとわかりません。専門家が最新の器械で測定値を出しても、いざ完成して演奏してみないとわからないのです。そしてベルリンのフィルハーモニーホールのように、それこそ良い音響でなくては困るところは、上からアクリル等の反響板を吊り下げたりして、必死で最良の音響空間を創りだします。

興味深いことにホールというのは、だいたいそれに関わってきた人達の執念の強さで、響きの違いが出てくるようです。建った時は今ひとつでも、主催者の努力で良い空間に熟成していくところも、その逆も見てきました。

演奏をする側からすれば、ちょっと弾いてみるだけで音響だけでなく、良い演奏が数知れず積み重なってきた伝統あるホールなのか、ただ思い入れ少なく弾き散らされてきたようなホールなのかは、その空気の密度で感じ取れてしまいます。今までそのホールで行われてきたさまざまな思いのようなものが、時間の経過に関わらず留まっているのかも知れません。

また、なかなか響きの具合がつかめないホールでは、会場リハーサルで音を集めるように弾いてみたり、客席の最後列や特に響かない方向に音を通すように弾いてみたりして、ベストの響き方を探します。多目的ホールとして使われていて、全然音楽の振動を受けつけてくれないような場所では、リハーサルの時間目いっぱい何時間も弾いて、少しずつ共鳴してくれるように取組みます。

そしておもしろいのが、最初とても違和感のあったホールでも1年経ってまた来たりすると、ちゃんとその響き方を身体が覚えていることです。東京文化会館のように何度も演奏していると、まるで自宅で演奏しているような感覚を覚えます。どのホールも固有の響き方があるけれども、一度自分のものにしてしまえば、それはもう旧知の空気です。初めての家や国を訪れたとき、今まで嗅いだことのないにおいに敏感になり、2度目からはもうあまり気にならないのと似ています。ホールというところは、人間の五感をフルに刺激する、有機的建造物といえるのかもしれない。



今後の主なコンサートとスケジュール

10月16日～22日 小澤洋介 in 中華人民共和国

和龍：1月1日 7pm 延辺：1月2日 10時 延辺芸術学院
朝陽川：1月1日 2pm 延辺：1月2日 2a 延辺大学
延吉：1月1日 7pm

演奏：チェロ/小澤洋介、ソプラノ/高橋共子、その他

10月31日 サント・フローリアン三重奏団

カリフォルニア州パサデナ市立大学演奏会

・ペルト：アダージョ ほか

出演：サント・フローリアン三重奏団 三戸素子/小澤洋介/フィリップ・ヤング

11月14日～17日 サント・フローリアン三重奏団

骨髓バンク支援キャンペーンコンサート 東京、埼玉、新潟

- ・ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第1番 変ホ長調 作品1-1
- ・ハイドン：ピアノ三重奏曲 第39番 ト長調「ジプシー風」
- ・ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 口長調 作品8

東京：1月1日 休「文京シビックホール小」 19時開演
埼玉：1月1日 金「日本バプテスト浦和基督教会」 19時開演
新潟：1月1日 土「岩船広域教育情報センター」 15時開演
新潟：1月1日 日「ユートピアくびき 希望館」 13時開演

お問合せ：全国骨髓バンク推進連絡協議会 TEL.03-3356-8217

11月23日(土) ミートス弦楽四重奏団

「ヌーボーワインの夕べ」山梨県富士吉田市 地場産業センター

時 pm 第1部 コンサート シューベルト：「ロザムンデ」他

時 pm 第2部 ヌーボーワインの試飲パーティー

出演：ヴァイオリン：三戸素子、山田耕司 / ヴィオラ：二宮隆行 / チェロ：小澤洋介

入場料：¥2,000 お問合せ：TEL.0555-24-4406(堀内)

12月15日(土) 小澤洋介、三戸素子デュオ

小澤洋介、三戸素子 デュオコンサート

・ラヴェル：二重奏曲 ほか

山梨、富士吉田 ナノリウム 6pm 開演

お問合せ：予約制 TEL.0555-24-2938 ¥3,500

12月27日(金) 西澤健一 作品展 津田ホール

Pf:西澤健一 Vn:三戸素子 Vc:小澤洋介 Sax:波多江四朗 Gu:大萩康司

- ・HOLY GARDEN for Violin and Piano
- ・ピアノ三重奏曲第二番
- ・アルト・サクソフォンとピアノのためのソナタ
- ・独奏ギターのためのソナタ
- ・ピアノ三重奏曲第三番「ディヴェルティメント」(初演)

会場：津田ホール 7pm 開演 一般4000円 学生3000円

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

1月11日(土) 小澤洋介ゲスト出演

黒沼ユリ子と仲間たち

シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」

会場：東京芸術劇場 大ホール 2:30pm 開演

前売A席3300円 B席2500円(当日券500円増)

お問合せ：小澤洋介 TEL.042-945-6326 (FAX.945-6329)

1月26日(日) 小澤洋介チェロリサイタル

小澤洋介、ラファエル・ゲラ デュオリサイタル

- ・グリーグ：チェロソナタ イ短調
- ・レーガー：チェロソナタ 第4番
- ・西澤健一：無伴奏チェロソナタ
- ・メンデルスゾーン：チェロソナタ第2番

東京文化会館 小ホール 2pm 開演 ¥5,000

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

2月9日(日) 東京文化会館室内楽シリーズ

クライネス・コンツェルトハウス Op.14

- ・ライネッケ：三重奏曲 作品274
- ・ショスタコーヴィッチ：ロマンス組曲 作品127
- ・フィビヒ：五重奏曲 作品42

出演：ヴァイオリン：三戸素子 / チェロ：小澤洋介 / ピアノ：ラファエル・ゲラ

クラリネット：山根公男 / ホルン：藤田乙比古 / ソプラノ：浅野公子

東京文化会館 小ホール 2pm 開演 ¥4,000

お問合せ：ハラヤミュージックエンタープライズ TEL.03-3587-0218

クライネス・コンツェルトハウス事務局 FAX.042-945-6329